

マネジメント論と質的方法

—その親和性、エスノグラフィー、自己エスノグラフィーを中心として—

蔡 芒錫

目 次

要約	1
はじめに	2
1. マネジメント論の研究手法：量的方法 vs. 質的方法	3
1) 量的方法	3
2) 質的方法	6
2. マネジメント論の開拓期：質的研究との高い親和性	8
1) 「仕事」のマネジメント (Taylor) と「組織」のマネジメント (Fayol)	8
2) 「人」のマネジメント (Mayo)	10
3) マネジャーの役割 (Mintzberg)	12
3. エスノグラフィー	13
1) 黄金時代のエスノグラフィー	13
2) エスノグラフィーの危機	15
4. 自己エスノグラフィー (Autoethnography)	18
5. 考察	22
編集後記	37